

**鹿児島駅周辺施設活用推進ワークショップ活動ニュース
Vol.2**

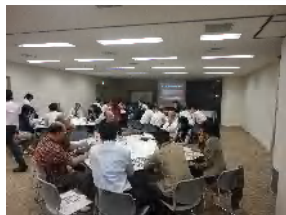
《編集・発行》鹿児島駅周辺施設活用推進ワークショップ事務局
(鹿児島市市街地まちづくり推進課 TEL 099-216-1388)

第2回ワークショップを開催しました！！

平成 26 年 10 月 28 日（水）アーバンポートホテルにて、『第 2 回鹿児島駅周辺施設活用推進ワークショップ』を開催しました。

●会次第

- 1 開 会
- 2 事務局説明
- 3 セミナー「イベントによる地域活性化」
～ひとづくり、まちへの愛着・宝物さがし～
- 4 グループ作業
- 【テーマ】イベント広場で行うイベントを考えよう
- 5 グループ発表・意見交換
- 6 閉 会



今回

第1回 8月27日

第2回 10月28日

第3回 12月中旬

第4回 2月上旬

テーマ

イベント広場の今とこれからを考えよう
(討議内容)

- ・地域資源を踏まえた映像、利活用アイデアの案
⇒こんな広場であってほしい

**イベント広場で行う
イベントを考えよう**

(討議内容)

- ・将来の目玉となるプロジェクト(イベント)提案

※イベント時
(非日常時、特定利用時)
の利活用方策

運用ルールを 考えよう

(討議内容)

- ・活用推進方策(たたき台)
提示と追加提案
- ・運用ルールの検討(利用
時間帯、場所、予約方法、
料金、広報、利用マナー
など)

活用推進方策・運用 ルール（素案）を考 えよう

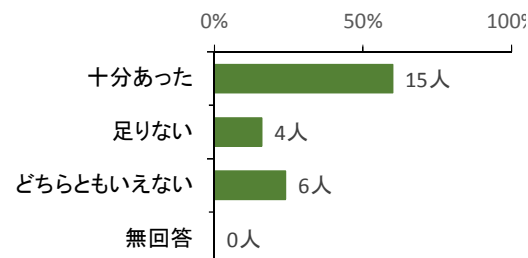
（討議内容）

- ・活用推進方策（素案）の
ブラッシュアップ
- ・運用ルール（たたき台）
提示と追加提案

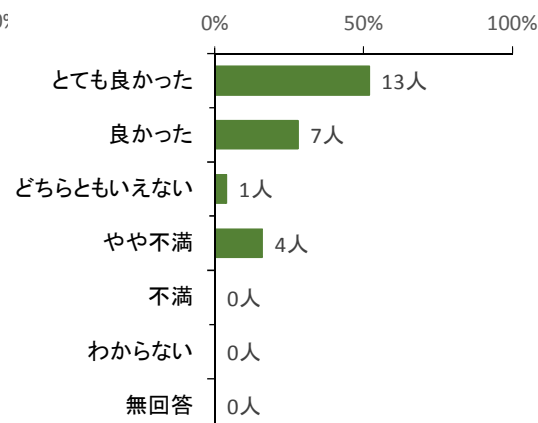


●当日の参加者アンケート結果

発言の機会



今回のワークショップについて



アンケート主な自由回答

- 物産館や多目的スペース及び地域拠点となる箱物がイベントをやる上でも必要かと思う。広場だけでは他となんら変わらず特徴・特性が産まれない。
- 嫌われ者になっている灰を敢えて活性化に使う。 ・固めて人形を作る ・灰干食品の作り方 などのワークショップもいいのではないかと。
- 具体的にイベントを進めていきたいと感じた。
- 地域の人や企業の人にも取組みを広く周知することができると良い。
- 今回は人がたくさん集まる目玉のイベントを考えるということで、夢のある提案がでてきて、とても面白かったし、様々な案が出てきてとても良かった。同時に、普段使う地域住民のコミュニティの場としての視点が置き去りにならない様に注意しなければと思った。
- 考える時間が足りなかった。
- 非常に良いワークショップだった。良い話し合いができていると思う。
- イルミネーションがしたい。
- 様々な意見を無駄にせず、これからの行政の方のバックアップをのぞむ。
- 絞込みの難しさを実感した。
- 前回の内容はメール等で知らせているので振り返りの時間はもっと短くしても良いと思った。
- 公園の利用方法として、一部の人だけが使うことがないよう様々なイベントを考える必要があると感じた。
- みなと大通り公園の利用をもっと考えるべき。
- 地域の活性化も視野に入れるのであれば、具体的なイベント企画策定の段階から地域住民を交え、地域と連動の下にプロジェクトを進めるべきであると考えている。骨子づくりの段階ではそこまで必要とは思えないが、周辺地域を巻き込むのであれば、その範囲はどこまでか現段階で整理しておくべきと考える。

●当日の様子

竹本 慶三氏（佐世保市商店街連合会会長）によるセミナーを行いました。

セミナーの様子

「イベントによる地域活性化」

～ひとづくり、まちへの愛着・宝物さがし～

「YOSAKOI させぼ祭り」や「きらきらフェスティバル」などのイベントを仕掛け、全国各地でまちづくり講演を行うなど幅広く活動されている竹本 慶三氏による貴重なお話を聞きました。



～セミナー内容～
「まちづくりはひとつ
くりであり、イベントは
あくまで地域活性化の手
段である」、「人が集ま
るところに人が集まる」、
「地域にある宝物に気付
こう」などのお話や具
体的なイベントの運営方
法についてお話しいた
しました。

4班に分かれ、イベント広場で行うイベントについて、具体的に話し合いました。

グループ作業の流れ

① イベント広場で行うイベントを考えよう！

はじめに、前回の意見を振り返りました。その後、イベント広場で行うイベントはどんなものがよいか意見を出しあいながら本日話し合うイベントについて考えました。

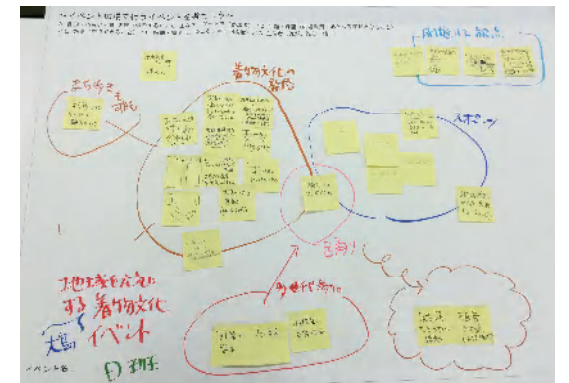


②イベントについて具体的に考えよう！

イベント広場で行うイベントについて、内容や問題・課題、期待できる効果などを具体的に考え、話し合いました。



＜できあがった成果＞（D 班の例）



③発表者が全員の前で発表します！



発表者を決め、意見交換の内容を全員の前で発表し、お互いの班の意見を確認しました。



●当日の成果 広場の将来像 ～イベント広場の今とこれからを考えよう～

	A 班	B 班	C 班	D 班
●イベント名	バック to the ヒストリア	タイムトリップ～上町の歴史にチャレンジ～	地域型イベントと集客イベントをおいませる	地域を元気にする着物文化(大島紬)イベント
目的・ねらい	・歴史や地域の良さをまず地域の人を知る ・地域の人を呼び込む（巻き込む）	・歴史や文化を発する場所にする ・人が集まる	・人を集める（集客できることが重要）	・和装文化の掘り起こし（たとえば、大島紬とか） ・上町を日本国内、世界に知ってもらう
開催の視点	・やっている人が楽しめるもの ・世界遺産を機に地元のおもてなしの場 ・歴史系は自分たちでできそう ・皆が知っているテーマ ・見るだけでなく体験型	・「上町歴史月間」など一日だけではなく、常設の展示物等を取り入れ日常的に歴史や文化を発信する場にする ・テレビやラジオ、電波を使ったイベントを取込む ・上町地区のイベント、祭りの拠点とする	・続けられるもの ・公園から広がるもの ・地域型と集客型のイベント ・日常で利用できるもの	・イベント広場に限らず、鹿児島駅、磯方面とのつながりや、地域活性化を見据えた取組が大切？ ・市民参加型イベント
内容	<バトル系のイベント> ●薩英戦争の歴史を発展させ「鹿児島 VS 外国人」 ●コスプレ ・5名1組で1チーム ・「西郷どんの遠行（せごどんのえんこ）」に合わせ ・薩摩の歴史上の人物になって雪合戦（普段できないこと） ・薩摩剣士隼人（鹿児島で活躍するローカルヒーロー） ・公共交通機関はコスプレをしたら無料になる ●食バトル ●文化系バトル ●スポーツ系バトル ●伝統芸能バトル	<薩摩藩復興イベント> ・殿様サミットを誘致 ・武者行列（みなと大通り公園→鹿児島駅広場→福昌寺→南洲神社） ・コスプレ集会（歴史上の人物） <参加型イベント> ・伝統工芸体験（子供でも参加できる簡単なもの） ・宝探し・スタンプラリーのスタート・ゴール地点 ・クイズ大会（地区対抗、個人、団体） <歴史・文化の発信イベント> ・薩英戦争にちなんで日本とイギリスの文化を紹介着物（大島紬）とドレスのファッションショー ・音楽パレードとおみこし ・路上カフェと野点（のだて） <食のイベント> ・昔の食の再現 ・青空市場 ・路上カフェ、野点（のだて）	<地域型イベント> ・グランドゴルフ大会 ・子供達（小学生以下）のサッカー大会 ・フットサル等のスポーツ大会（毎週） ・小中学校などの発表会（吹奏楽、合唱） ・子供のミニゲーム ・サッカー教室 ・相撲大会 <集客型イベント> ・音楽コンサート（週末限定）いろいろな世代・ジャンル ・アマチュアバンドのコンサート ・郷土芸能、伝統芸能発表の場 ・食の祭典（県内、県外も含めて人が集まる） ・ダンス大会 ・キャラクターショー ・既存のイベントの誘致（おはら祭り、KTSの日など） ・子供達のスポーツ大会の定着 ・焼酎フェス ・市外の人に来てもらえるようなイベントを年12回行う	<和装(ファッション)ショー> ・鹿児島らしい風土、歴史を感じるイベントとして、大島紬が衣装の中に少しでも入っていれば参加できるなど着物(きもの)コンテストを開催する。(大島紬は高価なので) <物産・文化発信> ・前後の1週間はファッションウィークとして、「歴史文化遺産」、「鹿児島の特産品」をPRする ・着物が作られる工程など、プロセスを見せる仕掛けも入れる。 <ウォークラリー> ・同日は、史跡・景勝地を巡る市民参加型のウォークラリーを開催 ・まち歩きに着物・浴衣で出かける・五社参りの中でも、着物イベントをすることもいい <踊り・ダンス> ・和装ファッションで踊りを行う。チーム参加 <その他> ・着物来場者には何かの特典付き ステージ配置案 屋外イベント広場 作品・展示・飲食ブース 屋根付き広場 ステージ
ターゲット	・多世代 ・小、中学校 OB、OG ・地域の人、外国人	・子供 ・地区対抗 ・個人、団体	・いろいろな世代 ・県内、県外を問わない	・基本は市民参加型。チームで参加するイベントもあり。 ・年齢制限はない
活用資源	・江戸時代から開かれた土地 ・桜島のロケーション ・場所の広さ ・多賀山など周囲の環境	・景色 ・薩摩藩の歴史 ・八坂神社などの神社仏閣 ・大島紬・伝統工芸	・交通の利便性 ・鹿児島の特産品（黒豚、ラーメンなど） ・伝統芸能・祭り	・国際大学の学生、近隣小学生は、踊りや和太鼓を習っている。(多世代参加が期待できる) ・広場周辺は歴史のある地域 ・大島紬
開催上の問題や課題		・その時しか人が来ない ・実行する人の確保 ・宣伝する方法が必要 ・資金をどう集めるか	・開催期間や時間をどうするか検討が必要（週末限定、年何回、月何回、夜限定など） ・地域の人がつくりできるようなものも必要 ・特定の人の利用をどうするか	・財源をどうするか ・踊りなどを行う場合の周辺への騒音対策（音の大きさ、開催時間など）
●その他の意見	・おはら祭の会場	・五社参り、お祭り 八坂神社（例祭、おぎおんさあ） ・フリーマーケット ・防災訓練 ・イルミネーション ・演奏会		地域内外の人が交流するスポーツイベント ・グランドゴルフ大会 ・ミニバスケットボール大会、ミニサッカー大会 ・ドッグラン大会 ・地域資源のスポーツクラブ S C C（N P O 法人）と連携したジョギング・マラソン